



2022年9月27日

各 位

会社名 株式会社 篠崎屋
代表者名 代表取締役 樽見 茂
(コード番号 2926 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理グループ長兼経営企画部長
兼 I R 室長 矢立 実
電話番号 048-970-4949

2022年9月期通期業績予想の開示に関するお知らせ

当社は、2022年9月期通期(2021年10月1日～2022年9月30日)の業績予想が公表できる段階となりましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年9月期通期の業績予想(2021年10月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
2021年9月期通期実績(A)	百万円 3,022	百万円 36	百万円 36	百万円 13	円 銭 0.92
発表予想(B)	2,792	△56	△56	△88	△6.28
増減額(B-A)	△229	△93	△93	△102	△7.20
増減率(%)	△7.6	—	—	—	—

2. 通期業績予想の開示理由

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による影響が大きく、予測が困難なため通期業績予想の開示は行っておりませんが、現時点における入手可能な情報や予測に基づき、業績予想の開示が可能と判断いたしました。

当社売上の90%程度を占める主要事業である小売事業におきましては、「健康」をキーワードに「茂蔵オリジナル商品」を強化してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響等による景気の先行きは不透明な状況となっていることから、「朝市」等のイベント開催を強化することで顧客数の確保と売上高の拡大に取り組んでまいりました。

店舗におきましては開店時間から12時までの時間帯に「朝市」を開催し、茂蔵の健康ブランド認知度向上に努めるために「懐石弁当」などの高付加価値・高価格帯商品を時間限定でお試し価格にて提供することで、購買意欲の高い顧客層の来店頻度の向上を図りました。

一方で新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化に伴い今後顧客数増加の見込みが低いと想定される9店舗を閉店することとしました。

この結果、1店舗平均の顧客数は前年並みの見込みですが顧客単価は下降しており、店舗数減少の影響もあり売上高は前事業年度比7.6%減となる見込みです。利益面につきましては、昨今の商品市況上昇による原材料価格上昇分の価格転嫁を慎重に推し進めていることに加えて茂蔵の健康ブランド認知度向上のため「朝市」等のイベントの開催による売上総利益率の低下及び人件費の上昇等により、営業損失は56百万円（前事業年度は営業利益36百万円）、特別損失として減損損失6百万円及び店舗閉店損失8百万円を計上した結果、当期純損失は88百万円（前事業年度は当期純利益13百万円）となる見込みであります。

以 上